

連続企画

旧軍用地の軌跡をたどる

～まちの記憶・記録と郊外のまちづくり～

企画1 まちあるき

旧造兵廠（火工廠）をあるく、みる、きく

講師：熊谷洋興氏（上福岡火工廠語り継ぐ会）

内容：旧造兵廠跡地散策、模型・資料の見学

場所：福岡中央公園（交番横に集合）



2023年10月7日(土)

13時～16時

企画2 公開研究会

旧軍用地とその転用から見る郊外社会

講師：

塚田修一氏（相模女子大学学芸学部准教授・都市文化研究、メディア社会論）

後藤美緒氏（東日本国際大学健康福祉学部専任講師・歴史社会学、旧軍用地研究）

場所：ふじみ野市役所本庁舎 5階A大会議室



2023年11月19日(日)

13時～16時

参加方法：以下のウェブフォームより申し込む

企画1



申込期間：9月6日（水）～
9月30日（土）まで
*定員10名（申し込み順）

企画2



申込期間：10月6日(金)～
10月31日(火)まで
*定員30名（申し込み順）

文京学院大学

まちづくり研究センターふじみ野

Tel: 049-261-7937

メール: mkurihara@bgu.ac.jp

問い合わせ先

企画1 まちあるき 旧造兵廠（火工廠）をあるく、みる、きく

ふじみ野市内には、昭和12～20(1937～1945)年の間、「陸軍造兵廠川越製造所（火工廠）」という戦争に使う爆弾や銃弾などをつくる工場がありました。

文京学院大学まちづくり研究センターふじみ野と市教育委員会が共催し、若い世代へ歴史を語り継いでいくことなどを目的に、福岡中央公園などの旧造兵廠跡を歩きながら、ふじみ野市のまちづくりの歴史を考えます。

企画2 公開研究会 旧軍用地とその転用から見る郊外社会

昭和20年（1945）まで、ふじみ野市内には「陸軍造兵廠川越製造所（火工廠）」という、戦争に使う爆弾や銃弾などをつくる工場がありました。その跡地は転用され、現在では、市役所や上野台小学校、福岡中学校、福岡中央公園、住宅、民間会社などになっています。

今回、文京学院大学まちづくり研究センターふじみ野との共催で、ふじみ野市と同様、首都圏30km圏に位置する郊外地域・神奈川県相模原の地域研究をされてきた研究者2名を招聘し、郊外や旧軍用地の跡地利用とまちづくりをテーマとした公開研究会を実施します。

主催：文京学院大学まちづくり研究センターふじみ野
共催：ふじみ野市社会教育課、上福岡歴史民俗資料館

問い合わせ先：

文京学院大学まちづくり研究センターふじみ野
Tel: 049-261-7937・メール: mkurihara@bgu.ac.jp